

埼玉育ちのグローバル人

Think Globally. Act Locally.



SAITAMA

埼玉県マスコット
「コバトン」

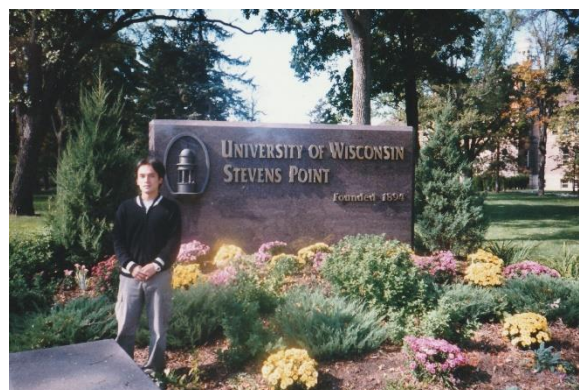
第2回 「1年間のアメリカ留学」

令和3年度 埼玉県・県立学校長期派遣研修者
金田 智 さん



私が留学したのは、University of Wisconsin Stevens Point という、ウィスコンシン州の小さな田舎町にある大学です。渡米した当初は、大学受験で英語の勉強はしたものの、英語を話した経験がほとんど無かったので、現地のアメリカ人と一緒に受ける大学の授業は本当に大変でした。今でも最初に受けた授業のことは忘れません。大きな講堂での授業でしたが、授業の最初から最後まで、教授の言っていることが全く分かりませんでした。どうしようもなかったので、授業が終わった後に教授のところに行って、”What did you do today?” (今日あなたは何をしましたのですか)と尋ねました。すると、その教授が、「それじゃあ、ここからここまで読んできて」と指示してくれたのが、英語のテキスト約50ページ分です…。当時の私は英語のテキスト10ページ読むのに、大体1時間ぐらいかかっていたので、50ページで約5時間。しかも他の教科もあります。途方にくれました。また、少人数の授業では、周りのアメリカ人の学生は絶えず手を挙げて発言し、自分の意見を発表していました。グループディスカッションでも、周りの学生のトップスピードで繰り広げられる会話にまったくついていけず、ディスカッションの授業なのに何も話すことはできませんでした。苦しく、悔しい日々が続きました。日本なら何も発言しなければ、先生や周りの人が気を遣ってくれて、「〇〇さんは、何か意見ある？」なんて聞いてくれますが、そんなことはありませんでした。何も言わなければ、何も

意見が無いのと同じです。何回目かの授業の時、勇気を振り絞って手を挙げて発言しました。本当にたどたどしい英語でしたが、周りの学生はしっかりと私の話を聞いて理解してくれました。「なんだ、通じるんだ！」そこからは、たどたどしくても、言葉になるまでに少し時間がかかっても、自分の意見を言うようにしました。すると、少しずつ周りの学生たちが私に話しかけてくれるようになりました。私の発言が増えるのと比例するように友だちが増え、友達が増えるのと比例するように英語も分かるようになってきました。留學生活の景色が変わってきました。そして3か月経ったころには、授業や生活上では基本的に問題は無くなってきました。



UWSP

1年間と期限のある留学だったので、とにかく色々なことに挑戦しました。履修した授業も、英語教育や外国語教育の授業はもちろんのこと、スピ

一斉の授業や演劇の授業も取りました。地元の小学校で教育実習をする授業もあって、毎週のように小学校に出向いては、日本語や日本の文化を教えました。授業以外でもロッククライミングのワークショップに参加したり、各国留学生の企画するイベントに参加したり、さらに食堂スタッフとパソコン室のヘルプスタッフのアルバイトもしました。アメリカ人の友達はもちろんのこと、韓国、中国、シンガポール、インドネシア、ラオス、インド、トルコなど、多くの国からの友達に恵まれました。とにかく毎日が勉強と遊び？で忙しく、あっという間の留学生活でした。



教育実習でお世話になった地元の小学校

そして1年間の大学の授業が全て終わった後に、私はアメリカ国内を巡る旅にでました。本当はグレイハウンドバスという長距離バスでアメリカ国内を回ろうと考えていたのですが、そのことをアメリカ人の友達 John に話すと、「俺の車を使って良いから、一緒に行こう！」と言ってくれました。でも、これから約1か月の旅に出ようというのに、John は「300ドル（約3万円）しか持っていない」と言うので、彼の車を使わせてもらう代わりにガソリン代は私が出し、基本的に宿泊はテント（野宿&キャンプサイト）で、食べ物はカセットコンロで自炊することにしました。

John の家があるアイオワ州から、カリフォルニア州を目指し、いざ西へと出発。私は国際免許を持っていたので、John と運転を交代しながら進みました。日本の約26倍もの国土を持つアメリカ。時速100キロで数時間運転しても、笑ってしまう

ぐらいほとんど景色が変わりません。そして日本ではなかなか見ることのできない地平線を見ることができます。まずはお隣のサウスダコタ州に入り、バッドランズ国立公園。目の前に広がる圧倒的な風景にさっそく言葉を失いました。そしてさらに車を進め、かの有名なマウントラッシュモア国立モニュメントへ。左から順に、4人の大統領（ジョージ・ワシントン、トーマス・ジェファーソン、セオドア・ルーズベルト、エイブラハム・リンカーン）の顔が刻まれています。続いて、アメリカ初の国立モニュメントであるワイオミング州のデビルスタワー。そしていよいよ、世界初の国立公園であり、アメリカ最大の国立公園でもある、イエローストーン国立公園へ。ワイオミング州、モンタナ州、アイダホ州にまたがり、その面積は約8,800平方キロメートル（四国の約半分）もあるため、その主要な箇所をみるだけでも2日かかりました。そんな中印象に残ったのは、道路沿いの小さな公園にアメリカンバイソンが普通に歩いていたことです。そして様々な見どころのあるイエローストーン国立公園ですが、ロッキー山脈を眺めながら、John と二人で日記を書いたり、のんびりと過ごした時間が忘れられません。アメリカ人である John にとっても、実は全て初めての場所ばかりで、私と全く同じように驚き、感動し、歓声や奇声を発していました。そんな John の姿に、私ももっと日本のことを知りたい、日本中を巡ってみたいと思いました。



ハイウェイから離れて野宿、時々キャンプサイト

そして、旅はユタ州ソルトレイクシティを抜けて、ネバダ州、そしていよいよカリフォルニア州へ。その建築の難しさから奇跡の橋ともよばれるゴールデンゲイトブリッジに迎えられながら、サンフランシスコに入りました。次回へ続く…。



旅の前半～アイオワ州からカルフォルニア州へ～